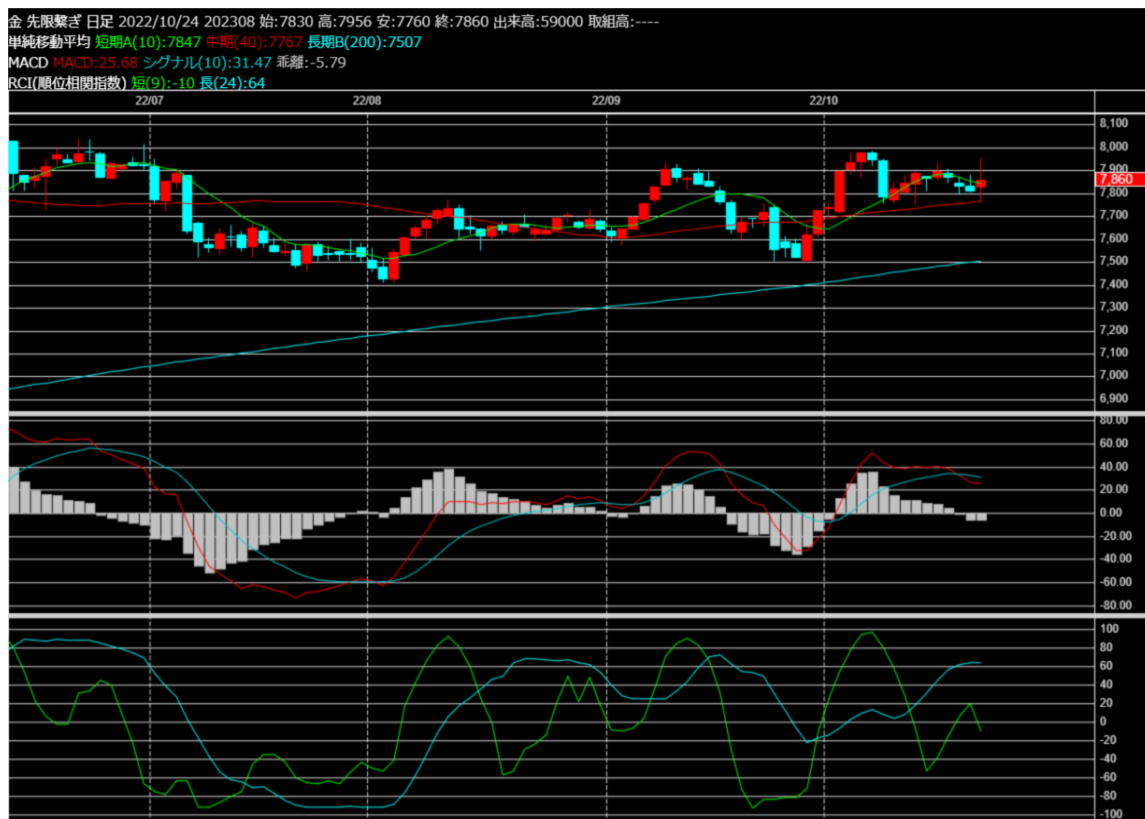


＜金標準先物、円買い介入と金利ピークの思惑で 7700 円へ・・・＞



(出所：オアシス)

トラス英国首相が歴代首相の中でも最速の 44 日間で辞任を発表している。ただハント財務相は 31 日に中期財政計画を発表すると述べており、イングランド銀行は 11 月 1 日から国債売却を開始すると言及するなど、依然とポンドの波乱要因は続く可能性が高い。

また週末は、FOMC メンバーでタカ派のブラード・セントルイス連銀総裁が「金利をそのまま維持するかもしれないし、もう少し小幅に引き上げるかもしれない。入手するデータ次第だ」と言及し、デーリーサンフランシスコ連銀総裁も「いつまでも 0.75%だという考えに固執しないほうが良いと心から勧めたい」と言及するなど、金融当局者も行き過ぎた動きに警戒感を持ちだしている。そのタイミングで日銀は 100 億ドルの円買い介入を実施するなど、151.94 円から 146.19 円まで円高・ドル安の動きを行なっている。そのため金標準先物は、一時 7956 円まで反発しながら 7760 円まで反落するなど急激な値動きを見せている。特に FRB の金融政策の転換を思わせる発言と為替介入でドル円相場の動きが転換する様であれば、目先 7700 円を確かめながら底固めの値動きを示し、FOMC 以降は高値追いへ変化すると思える。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足を MACD では、MACD が切り下げながらシグナルも切り下げており弱気を示唆し、RCI では短期が下げて、長期も上昇が止まるなど弱気の域と思える。そのため 40 日移動平均線が位置する 7767 円を下回る可能性が高いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,188,000 円(2022 年 10 月 24 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 10 月 24 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>